



水口東高校バレーボール部
なかかわともか
中川朋香さん
(水口町山)

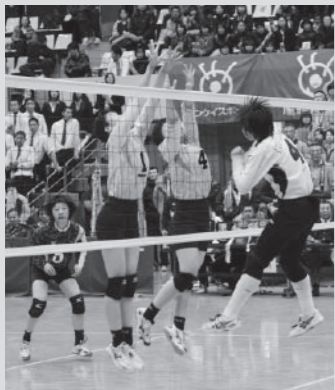
絆でつかみ取った全国大会

6月に行われた、滋賀県高等学校春季総合体育大会で、水口東高校女子バレーボール部が優勝、初の全国大会出場を果たしました。

「とにかくうれしいのと、練習でお世話になった方や家族への感謝の気持ちでいっぱいです。」と話す同チームのセンターのポジションで活躍する中川朋香さん。2月に行われた「春の高校バレー」では、惜しくも決勝で敗退、全国大会出場は叶わず、今回はリベンジを果たすべく、絶対優勝するという強い思いで臨んだ大会でした。

レシーブの思い、トスの思い、それぞれの思いをボールに託して点を取り、みんなで喜びを共有することがバレーボールの最大の魅力という中川さんは、「今のチームを一言で表すと『絆』です。チームメイトとは『第2の家族』と言うぐらい一緒に過ごしてきました。プライベートの部分でも、全員で悩み、全員で喜ぶことができるチームメイトは大切な宝物です。」と話されています。今大会の栄冠も、もちろんチームワークでつかんだものでした。

8月5日から沖縄県で行われる全国高等学校総合体育大会「美ら海沖縄総体」では、決勝トーナメント出場が目標とのことですが、同時に、「体育館にいるすべての人に夢と感動を与えたい、最後まであきらめないひたむきな水口東バレーを見て欲しい。」と決意する中川さん。



県下No.1の呼び声高い中川さんのジャンピングフローターサーブ。きっと沖縄のコートでも冴えわたるはずです。

◀試合でスパイクを打ち込む中川さん(右端)

体験交流で友情深める

～鮎河小・沖島小交歓会～

鮎河小学校に7月1・2日、沖島小児童が訪れ、体験交流学習による交歓会が行われました。

沖島小は、琵琶湖に浮かぶ島、沖島にある小学校で、両校では平成元年から児童がお互いの学校、地域を訪問し交流を行っています。今年は、鮎河小児童が沖島小児童を招き、両校の3・4年生児童11人がいろいろな体験を楽しみました。

近くを流れるうぐい川でのアマゴつかみ体験では、石の下に隠れるアマゴをみんなで協力しながらつかまえ、夕食で焼いてみんなでいただきました。また、食後にはホタルの鑑賞も行い、自然いっぱいのお楽しみ体験を通して、友情を深めることができました。



▲アマゴつかみを楽しむ児童

交通安全啓発に ジュニアポリス出動

～交通安全広場～

7月4日、明照保育園児がジュニアポリスとして警察の制服姿で交通安全を呼び掛けました。

この啓発活動は、高齢者交通事故ストップ作戦の一環として行われたもの。この日、ジュニアポリスは、信楽町の新宮神社内で行われている手づくりマーケット「げな市」の会場へ出動。大勢の人で賑わう境内で反射材などの啓発材を配りながら、「交通安全お願ひします。」と大きな声で呼び掛けました。

買い物などを楽しむ会場の皆さんは、愛くるしい警察官の呼び掛けに交通安全の意識を高めることができました。



▲安全運転を呼び掛けるジュニアポリス

優しい音色に魅了

～大正琴の祭典～

優しく哀愁を帯びた音色が魅力の大正琴。大正時代に誕生したこの楽器は、大衆楽器として多くの愛好者により親しまれてきました。そんな大正琴でいろんなジャンルの音楽を奏で楽しむ「大正琴の祭典」が7月4日、ダイヤモンド滋賀で行われました。

この祭典は、宗家岡田流大正琴土山支部の誕生20周年を記念して行われたもの。この日は愛知県や岐阜県などからも愛好者、指導者が集まり、多くの曲が演奏されました。

おなじみの演歌から流行のポップスまで、ドラムやシンセサイザーも取り入れたの優しく美しい演奏に、観客の皆さんは癒しの音色を楽しみました。



▲多彩な曲が演奏されたステージ

七夕の空に迫力の火柱

～矢川神社七夕まつり～

甲南町矢川神社で七夕の日恒例の七夕まつりが行われました。

この日は、子どもたちから寄せられた色とりどりの七夕飾り300本が境内を彩り、夏の幕開けを楽しもうとする多くの人で賑わいました。

メインイベントの手筒花火では、今年初めて子どもたちが挑戦するミニ手筒花火が登場。小さいながらも勢いよく噴き出す火花に少しびびりながらも鮮やかな光の帯を楽しみました。その後の手筒花火では、幽玄な音楽が流れる中、10数メートルの火花が夜空を焦がしました。

訪れた人は、七夕の空の下、大迫力の火花を楽しみ、今年も夏の到来を感じることができたようです。



▲大迫力の手筒花火

新鮮な地域の味を満喫

～甲南第三小学校ブルーベリー摘み～

地域の活性化と特産品づくりを目的に、上野川営農組合の方が取り組まれている観光ブルーベリー園「宮ベリ」。今年も6月26日にオープンし、前日の25日には、甲南第三小学校の全校児童が招待され、ブルーベリー狩りを楽しみました。

栽培されている約780本の木には大きな実がたくさん実り、児童は次々と摘み取り地元の味覚を満喫しました。また、この日は、中嶋市長も農園を訪問、児童たちと一緒に甘酸っぱい実を味わいました。

今年もブルーベリーの出来は上々で、粒が大きく味もよいとのこと。同園は、9月5日まで開園されています。



▲熟した実をほおぼる児童



▲中嶋市長も試食、おいしさに納得